

子どもを放射能から守って！

守る会が市長に要請



申入れをする奈良会長（左端）と星野市長（手前後向き）

申し入れ書（要旨）

- 1 沼田市は数多くのホットスポットがあり、国の示す除染区域となっています。子どもたちの数年後に健康被害が起こらないように出来る限りの対策を行なっていただきたい。
- 2 地域及び子どもたちの環境への継続した放射線対策と定期的な測定、埋め立て土壌の管理と住民への公表と周知をお願いします。
- 3 沼田市消費生活センターにおける食品放射性物質の検出限界値を可能な限り下げて下さい。
- 4 学校給食において食材ごとに放射能測定を行ない、検出されたものは使用しないで下さい。
- 5 学校、幼稚園及び保育園の敷地内においては定期的に空間放射線量を測定し、国の安全基準以上の危険な個所は直ちに除染を行なって下さい。
- 6 今後（チェルノブイリでは4年後から小児甲状腺ガンが多発した）子どもたちに健康被害が起こる可能性があります。早期発見のため「放射性物質による健康影響検査費の助成制度」の実施をお願いします。

放射能から子どもたちを守る沼田の会と白沢の放射能を考える会（奈良英子代表）は11月9日、星野沼田市長と宇敷教育長に対し、原発事故による放射能汚染の中で、これからも子どもたちが健康に成長していけるように6項目の対策を申し入れました。（下記参照）これには井之川博幸議員も参加しました。



井之川博幸市議



陳情に参加したみなさん
正面たっているのが星野市長



柳町区民文化祭

各町で文化祭が開催されています。

文化の秋

東原文化作品展・作品を見る井之川市議

小口資金融資制度の拡充陳情を採択

13日に開催された沼田市議会経済建設委員協議会は、沼田商工会議所（横山公一会頭）外一団体から提出された陳情書のうち付託された2項目を審査しました。

小口資金融資制度の拡充については、(1) 融資限度額現行1,250万円を1,500万円に引き上げるとともに、融資利率（現行2%）を引き下げること。(2) 融資期間を設備資金現行8年から10年に、運転資金現行6年を7年に延長すること。(3) 信用保証料率の引き下げ及び利子補給による助成を講じること。という内容で、全会一致で採択しました。

よりよい保育を求めて 多子家庭への保育料軽減の拡充を

熊の子保育園が市長に要請

社会福祉法人熊の子会、熊の子保育園、熊の子保育園保護者会は合同で12日、星野沼田市長に対し、よりよい保育実現のための「陳情書」を提出し、市長や関係部課長などと懇談しました。これには井之川博幸議員と大東宣之議員が参加しました。

陳情書では、詰め込み保育の解消や保育料軽減制度の無条件での実施、保育園への太陽光発電の設置、保育園職員配置基準の改善など12項目を要請しています。

2012年11月18日 No.634

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料